



る う て る

2011年
6月
No.762

■発行所■
日本福音ルーテル教会事務局広報室
〒162-0842 東京都新宿区中谷砂土原町1-1
電話 03-3260-8631

■振替口座 ■00190-7-71734
■ウェブサイト ■http://www.jelc.or.jp
■E-mail ■jelc@jelc.or.jp
■発行人 ■徳野昌博 m.tokuno@jelc.or.jp
■印刷人 ■精文堂印刷株式会社
■定価 ■1部40円 (郵送料を含む)

説教 「不安のきわみで歩き出す」

「イエスは通りすがりに、生まれつき目の見えない人を見かけられた。弟子たちがイエスに尋ねた。『ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか。』イエスはお答えになった。『本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない。神の業がこの人に現れるためである。』(ヨハネ福音書9章1節〜3節)

渡邊純幸議長、松木傑牧師、LWF特別アドバイザのマイアさんと共に、4月18日から21日かけて車で東日本大震災の被災地である仙台、石巻、気仙沼、陸前高田を訪ねました。津波ですべての建物が全壊した地域に入った時は、何度も途中、車を降り、道路の真中に立ち、お互いに声も交わすことが出来ずに身の震えを内に感じました。



このような災害は「天罰」ではないかという不穏な言葉を吐いてしまった人もいました。今回の未曾有の大震災をどのように理解してよいのかという戸惑いを

多くの人が持つているのではないのでしょうか。このヨハネ福音書9章でイエスは生まれつき目の見えない人をいやしていません。イエスの癒しの前に、弟子たちはイエスに「ラビ、この人が生まれつき目が見えないのは、だれが罪を犯したからですか。本人ですか。それとも、両親ですか」と問うています。

「それからは、大変な捜索となり、巡視船まで出た捜索活動が、毎日続けられました。私たちは、失神しそうになりながら、ポスターを全国に貼り、またテレビの呼びかけ番組にも4度出演し、少しでも似た少女の写真や絵を見かけるとすぐに問い合わせたり、出かけた。」「本当に気が狂ってしまふような毎日でした。」「ですが、どんなにしても何一つ手がかりがなく、目撃者もなく、一ヶ月、半年、一年と時だけが過ぎて、私はただ打ちひしがれ、虚しさだけが心に満ちてくるばかりでした。」「主人や息子たちが勤めや学校に出かけた後は、悲しみがどつと押し寄せてまいりました。こんな

に悲しい目はどうして合うのでしょうか。どうすれば立ち上がれるのか。どんなに号泣してみても、息も止まれと止めてみても、悲しい朝はやつてきます。」「さらに、ある人々、ことに宗教的な匂いを持っている人が冷たい言葉を投げかけ、それにより惑わされた辛い日々の気持ちをこう綴っています。『子供は親の鏡、親の全てを現します。』とか『因果応報』とか、いろいろな宗教の人が来て、悲しい心に突き刺さるような言葉を残していきまし。私は祖先に思いを馳せて、誠実で質素な温かい父母を思い、泣きました。」「

そのような涙に暮れる日々を送っていた時に、娘と同年のお母さんとの出会いが与えられます。その時の心境を早紀江さんはこう書いています。『あまりに悲しむ私に、クリスチャンの友は聖書の言葉で励ましてくださいました。生まれつき目の見えない人を見て、イエスの弟子がその理由を聞きますとイエスは

今から、30年前の、昭和52(1977)年11月15日夕刻、中学校一年生の横田めぐみさんが、新潟市の中学校から帰宅する途中で拉致されました。横田めぐみさんのお母さんである早紀江さんは、めぐみさんが居なくなつて7年経った1984年5月に、バプテスト教会の宣教師であるマク・

ダニエル宣教師からキリスト教の洗礼を受けています。彼女は1999年に日本福音ルーテルが発行している機関紙にめぐみさんを失つてからの辛い日々のことをこのように書いています。『それからは、大変な捜索となり、巡視船まで出た捜索活動が、毎日続けられました。私たちは、失神しそうになりながら、ポスターを全国に貼り、またテレビの呼びかけ番組にも4度出演し、少しでも似た少女の写真や絵を見かけるとすぐに問い合わせたり、出かけた。』

そのような涙に暮れる日々を送っていた時に、娘と同年のお母さんとの出会いが与えられます。その時の心境を早紀江さんはこう書いています。『あまりに悲しむ私に、クリスチャンの友は聖書の言葉で励ましてくださいました。生まれつき目の見えない人を見て、イエスの弟子がその理由を聞きますとイエスは

次のように答えられました。初めて聞く不思議な言葉でした。『この人が罪をおかしたのでもなく、両親でもありません。神のわざがこの人に現れるためです。』という新約聖書ヨハネの福音書9章3節に触れられました。』

東日本大震災 救援募金

日本福音ルーテル教会の「連帯献金」を通して、被災者救援のために用います。仙台市内にあるルーテル教会と連絡をとり合いながら、救援活動を行なっています。

■緊急募金の送金先■
郵便振替用紙に「東日本大震災」と明記して下記の口座にご送金下さるようお願いいたします。

郵便振替：00190-7-71734
名義：(宗)日本福音ルーテル教会

彼女が旧約聖書ヨブ記1章21節の「私は裸で母の胎からでた。また、裸で私はかしこに帰ろう。主は与え、主は取られる。」という言葉に、はじめて出会ったときに、「始めて深呼吸ができ、久しぶりに空気がおいしく思えました」と語っています。

また、「人知の及ばないところにある神の存在は、この世の悲しみ、苦しみ、すべてのことを飲み込んでおられるのだ。私の悲しい人生も、人間という小さな者には介入できない問題なのだ。聖書は私にそう語りかけてくるようでした。」と書いています(めぐみ、お母さんがきつと助けてあげる草思社)。

私たちにとって誰もが願うことは幸福です。でも、予期せぬ試練と苦難の中にあつても人生に対する新たな希望と意義が見出されることもあるのです。そして、苦難を苦難としてそれなりに耐え忍ぶところに真の信仰が与えられ、そこから神に出会い、真の喜びへと導かれることにもなるのです。

ルターによせて(2)
「食後の感謝」について
ルターの小教理問答の第二部は簡単な祈禱集となつていて、その最後に「食後の感謝」の祈りがある。食前の祈りは今でもよく唱えらるが、「食後の感謝」は、現代では、フィンランド以外では殆ど見られないように思われる。

ルターがなすべき祈りとして「食後の感謝」を記した理由は何かだつたのだろうか。彼が結婚した一五二五年はドイツ農民戦争が勃発した年でもあった。この二年後ウィッテンベルクではペストが流行し、大学がイェナに移った。娘のエリザベートが生まれたが翌年死した。戦争の傷跡と病氣と食糧難が当時の状況だった。またジャガイモなどは普及しておらず、明日の糧が保証された世界ではなかった。こういう状況でルターは食後の感謝を祈った。

主の恵みと慈しみは、離の面倒を見ない親鳥に見捨てられた子ガラス達が主に鳴き求めれば養われるほど、深く絶えることがないと祈っている。

彼はこの世の悲惨の底に恵みを見出し、感謝を献げた。東日本大震災の被災者が「五日間おにぎり一日一個でしたが、感謝しています。」と言っていた。この窮乏のさなかの感謝の言葉はルターの食後の祈りと通底しているように思えてならない。

東日本大震災救援ニュースサイト
ルーテルとなりびと

http://lutheran-tonaribito.blogspot.com/

ボランティア募集

問い合わせは
ルーテル教会救援本部ボランティア派遣担当(安井)までメールでお願いします。
専用アドレス entry@jelc.or.jp

信徒の声

「神さまの豊かな恵み」

～ルーテル子どもキャンプ～

三鷹教会 ^{かわた あきこ} 河田晶子

1999年、女性会連盟の信仰継承プログラムとして始められた国際少年少女キャンプは、2004年の第5回より、TNG子ども部門が引き継ぎ、JELAの支援のもと、ルーテル子どもキャンプとして今日にいたります。今年で第13回を迎えるルーテル子どもキャンプは、5、6年を対象に「平和＆国」の2年1サイクルの学びを通して、生きることに意味、いのちの大切さをテーマに毎年続けられていきます。

私自身を振り返ると、小学校5年生の時に関西のCSキャンプでキャンプ

デビューして以来、さまざまなキャンプを経験してきました。そんな中で、多くの仲間と出会い、神さまと出会い、洗礼へと導かれたのです。キャンプには、本心に不思議な力が働きます。普段、おとなしい「私」もキャンプとなれば、パウロ全開フル回転で、全身に血が流れるのを感じます。まさに、生きる喜びに満たされるのです。

特に、ルーテル子どもキャンプは、子どもたちからたくさん感動をもらいます。私にとっても神さまの豊かな恵みを肌で感じるときでもあります。たった3日間の間に、子どもたちの顔がキラキラと輝いていくのがはつきりとわかるのです。このキャンプのために、スタッフ達とは、約1年かけてプログラムを煮詰めていきます。時には、1からやり直しになったり、伝えたいことがあり過ぎて悩んだりもします。でも、1番の願いは、子どもたちに「み〜んな、神さまから愛されているかけがえのない子どもなんだ」と気づいてもらうことです。また、小学5、6年の多感な時期に、キャンプを通してたくさんの方たちと出会い、ティーンズキャンプへつなげていく神さまとつながっていく



ルーテル子どもキャンプのホームページ <http://www.asahi-net.or.jp/~gs6m-nkns/KidsCamp/>

牧師の声

私の愛唱聖句

宮崎教会 ^{きのした おさむ} 木下 理

「生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。」(ガラテヤの信徒への手紙2章20節)

洗礼を受けて間もないある夜のことです。わたしは12時ごろ目がさめました。いつもは明日の仕事のことを考えて、またすぐに眠ろうとするのですが、何故かその夜は、無性に聖書を読みたくくなりました。聖書を開きますと、わたしの耳を通して聞こえて来たというよりも、わたしのからだの内側から、小さいけれど

もしつかりとした声がありました。部屋には、わたしのほか誰もいません。それは、「ガラテヤ」と言う声でした。わたしはその夜、「御心を示してください」と祈って休みましたから、祈りに対する神の応答が「ガラテヤ」だったのだと、しばらくしてから気づきました。人間の理性では、到底理解の出来ないことが起きたのです。

神はその時、「ガラテヤの信徒への手紙、何章、何節の御言葉をしっかりと読みなさい」と、はっきり示されたではありません。ただ一言、「ガラ

テヤ」と言われただけでした。ですから、その時から今日に至るまで、わたしはガラテヤ書と、ガラテヤの信徒へ手紙を書き送ったパウロに、関心をもち続けざるを得なくなりませんでした。神学校1年生のときです。どんな牧師になりたいですかと質問されたとき、パウロのような牧師になりたいと答えました。ルーテル神学校の卒業論文は、ガラテヤ書を中心に、「パウロによるイエスの死の救済的意義」をテーマに執筆しました。ある信徒の方から、「先生、わたし

の新しい聖書に御言葉を書いてください」と依頼されたとき、ガラテヤの信徒への手紙を読み返して書かれたのが、2章20節に記されている「生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。」という御言葉でした。

牧師となつて四年目の今でも、礼拝の前はかなりの緊張します。しかし、この聖句を唱えますと、緊張の中に、も平安が生まれてきます。洗礼を受けて間もない夜、

わたしに「ガラテヤ」と言われたお方が、わたしの内に生き続けておられるから、取るに足りないわたしも説教壇に上がる事ができるのです。

「生きているのは、もはやわたしではありません。キリストがわたしの内に生きておられるのです。」これがわたしの愛唱聖句です。



将来と希望



今年のフィンランドの学校の修了式は6月4日です。みんな夏休みを楽しみにしていますが、その日は特に学校の勉強を無事に終えた高校3年生にとって大きなお祝いです。生徒たちは卒業試験に合格したという印として白い帽子を被つて、将来の夢に胸をふくらませていきます(写真)。

日本の教育社会と同様に、フィンランドでも子どもたちは長い間勉強します。私たちの息子は6歳の時に、もうそのことが分かりました。サッカーが大好きな彼は、学校が始まったばかりのある日、家に帰ると「ママ、僕は12年間も学校の机の前に座れやしないよ」と将来を心配して言いました。

フィンランドの義務教育は日本のように9年間続きます。けれども、それは子供が7歳になる年に日本より一年遅れて始まりま

す。基礎教育と呼ばれる義務教育は高校もしくは職業専門学校



Pavi Poukka
ポウツカ・パイヴィ
スオミ教会

に続く中等教育に繋がっています。高等教育には、大学と科学技術専門学校とがあります。大学では、3年間で修士の資格、更に2年間で修士の資格がとれます。また、その後、博士課程に進学することもできます。

親たちが子供にいい教育を受けさせたいと思うのは当然のことでしょう。けれども、人生は思った通りにはいかないものです。道半ばでいろいろな理由で希望を失う大人も若者も少なくありません。教育は大切なことですが、確かな将来への道は別です。それは、私たちの喜びと悲しみを知つてくださる神様なのです。

「わたしはあなたたちのために立てた計画をよく心に留めている」と主は言われる。それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである(エレミヤ29・11)。祈りの中に、子供たちの将来を全能の神様にお任せしましょう。

日本福音ルーテル教会の社会福祉施設の紹介 その14

社会福祉法人レインボーハウス福祉会
障害福祉サービス事業部

レインボーハウス

施設長 鶴 順子

今から24年前、自分たちの暮らす街の中に安心して障がい者の人たちが集える場所が欲しいとの願いのもと、レインボーハウス設立準備会が発足しました。九州教区や佐賀教会のご好意により、教会の敷地内にプレハブを建てさせていただき、お菓子作りの作業を始めることになりました。

左の写真のとおり、戦後のバラックのような建物で、こんな所でよく保



ては販売し、また自分たちの趣味をアピールして回りました。レインボーハウスの働きが少しずつ広がりました。1992年、日本福音ルーテル教会の宣教百年記念事業の一環として佐賀教会が改築されるこ

とになりました。濱田道明牧師先生ご夫妻や教会員、役員会の方々のご好意により、教会の第二集会所を作業所として拝借できることになりました。

2004年4月からは、社会福祉法人としての法人格を取得し、濱田先生が理事長になってくださり、今日までご指導いただいております。月に二回の職員の聖書の学び、月に一回は利用者共々、讃美歌とおはなし会等を行っています。

最初は2~3人の小さな働きから始まった活動ですが、現在は総勢55名を数えます。佐賀教会はもちろん、各地のルーテル教会や信徒の方々にいろいろな形でご支援をいただき、感謝いたしております。

神様は、時になつて必要なものを与えてくださいました。恵みも試練もすべて神様の愛の内にあることを思います。

あの屋根に畳の乗った小屋から始まったレインボーハウスも、これからどんどん変わっていくことでしょうか。しかし、どんなことがあっても、変わらない神様の愛の中で、いきたいと切に願っています。

震災ボランティアに参加して

二日市・福岡西教会
野口勝彦

2011年3月11日から2ヶ月が経過した5月11日。

被災地では、地震発生後の14時46分18秒に地震によって召天された方を覚えて一斉に黙祷がささげられました。

私はちょうどその時間に、石巻の民家で津波による泥かきのボランティア

ティア作業に従事していました。

その中で私が忘れられないのは、その民家のご主人のお話です。津波が襲った状況を延々と話をされるその姿に、その痛みの深さを感じました。

また、どのお宅でも被災されながらもボランティアの私たちに、写真のような軽食を用意し、感謝の気持ちを表されるその心も忘れることができません。

地震発生から2ヶ月以上が経過しても、まだ、泥だらけの異臭がする自宅で生活せざる得ない方々が被災地では少なく

ありません。

また、沿岸部は写真の通り、壊滅状態が延々と続いています。

私は、これからも息の長い支援とお祈りを続けることができればと考えています。



園長室より

私がキリスト教保育の世界に身を置くようになって、はや5年目。子どもたちと共に、私自身も園長としての成長を経験してきます。新しい発見もたくさんありました。

まず、幼稚園の仕事をするようになって、40年以上前の私自身の幼稚園

生活を思い出しました。いえ、正確に言えば記憶が曖昧なので、両親に尋ねたり、インターネットで検索したりして、私自身の幼稚園時代を追体験しようとして試みたわけ

です。私はもともとクリスチャンホームで育ったわけではなく、中学校からミッションスクールに入

学したことがきっかけで、キリスト教と出会いました。ですから、私は

年数ヶ月通った最初の幼稚園と、引越後後に数ヶ月だけ通った転園先の幼稚園のうち、最初に通った幼稚園のホームページを見つけ、その幼稚園の標語に「かみさま

とともにあゆむことも」という文字を発見して、私は自分が「学校育ち」以前に「幼稚園育ち」のクリスチャンだったということを知ったのです。

まさかこの歳になって、記憶の底に沈んでいた「最初のキリストとの出会い」に気づくとは。加えて、私に最初に伝道してくれた方と思しき幼稚

園の先生の記憶が、曖昧なものです。しかし、その名前は「あだちせんせい」。細面で小柄な先生だったと記憶しています。

そして、ここからはもしかしたら後になってねつ造された記憶かもしれないのですが、ある面

で（それはたぶん引越越しをする直前だったと思うのですが）、母と私を前にして「あだちせんせい」が「やすのりくんは、かみさまをしんじることになったね」と言われたことを、おぼろげながら思い出したのです。



幼稚園時代の記憶は曖昧なものですが、その成に大きな役割を果たしたであろうことは、否定できません。キリスト教保育の果たす役割は、一般に考えられているよりも、はるかに大きいと思います。

田島靖則

東日本大震災 緊急支援献金報告 (JELC)

3月11日に発生した日本で観測史上最大とも言われる、東日本大震災の支援活動のために、日本福音ルーテル教会は他の三つのルーテル教会と共に救援対策本部を設置し、全国の教会、関連施設に緊急支援募金をお願いしていますが、以下の多額の募金が海外教会も含めて5月10日現在で日本福音ルーテル教会の「連帯献金」に送金されてきました。なお、教会によっては何回にもわたって献金くださっていることも含めて感謝し、ご報告いたします。

宣教室

献金合計 36,269,831円

【教会】 9,942,584円

【東教区】

市川教会、松本教会、三鷹教会、東教区総会、武蔵野教会、保谷教会、東京池袋教会、湯河原教会、小岩教会、聖が加教会、田園調布教会、津田沼教会、小田原教会、東京教会、甲府教会、市川教会、本郷教会、大岡山教会、大森教会、藤が丘教会、甲府教会、小石川教会、羽村教会、諏訪教会、長野教会、雪ヶ谷教会、対馬教会、板橋教会、浦田教会、稔台教会

【東海教区】

静岡教会、浜松教会、沼津教会、掛川菊川教会、岐阜教会、大垣教会、小鹿・清水教会、刈谷教会、なごや希望教会、新霊山教会、栄光教会、知多教会、名古屋めぐみ教会、岡崎教会、浜名教会、挙母教会、復活教会、高蔵寺教会、

【西教区】

西宮教会、神戸教会、西条教会、広島・呉礼拝所、豊中教会、宇部教会、松江教会、松山教会、下関教会、三原教会、福山教会、厚狭教会、高松教会、賀茂川教会、岡山教会、天王寺教会、修学院教会、広島教会、神戸東教会、ソノ教会益田礼拝所、

【九州教区】

長崎教会、鹿児島教会、小倉教会、大江教会、二日市教会、別府教会、室園教会、宇土教会、大牟田教会、八代教会、阿久根教会、博多教会、宮崎教会、熊本教会、大分教会、荒尾教会、甘木教会、水俣教会、福岡西教会、唐津教会、松橋教会、合志教会、神水教会、日田教会、箱崎教会

【北海道特別教区】

札幌教会、函館教会、恵み野教会、帯広教会、

【施設・関連団体】 4,801,872円

一粒の麦、近畿福音ルーテル教会、日本福音ルーテル社団、女性会連盟、挙母ルーテル幼稚園、旭ヶ丘母子ホーム、旭ヶ丘保育園、恵泉幼稚園、小城幼稚園、広島ルーテル保育所、九州ルーテル学院、日本ルーテル教協議会、奈多愛育園、西日本福音ルーテル教会、釜崎アイエセンター、国府台母子ホーム、東海教区女性会、東教区女性会

【個人】 2,268,158円

小町志乃、中山康子、以教会信徒、中嶋泰子、金田貴子、後藤佳代子、星野幸一、高品みささ、石澤とし子、小山茂、本橋悦子、林めぐみ、沼本壽美江、小林文恵、加藤貴恵、石田順朗、イグナルド、宮崎宏子、嶋田達郎、加納勲、高取明、中野隆正、高橋寿代、曾根すみか、室原康志、野村千佳子、米田登志子、河田玲子、池松綾子、大手昭、伊藤喜代子、東教区青年会、小林純弘、橋野豊子、石田プリシラ、川口ヒロシ、西脇義洋、村田隆三、村田和子、三五さやか、岩田茂子、丸山一郎、石郷岡玲未、長嶋邦英、芦塚千紗、鈴木章子、小宮達夫、渡辺昌子、大林由紀、成瀬真理子、大柴節子、佐伯里英子、山本有都子、井上英子、大窪純子、河野由希、逆瀬川剛史、石澤千香子、長尾博吉、小林純郎、大江紀久子、早川顕一、天木鈴子、八幡真、藤田光江、

【海外】 19,233,217円

サバ加教会、フィリピンルーテル福音協会、アムステルダムルーテル福音教会、ドゥアルテル福音教会、台湾ルーテル教会、ウクライナ教会、アメリカンルーテル福音協会、サバ加・日系ルーテル福音教会、南米教会、アガペー・中国人教会、ブラジル福音ルーテル教会、物加町分教区、シガゴルーテル福音教会、オーストラリアルーテル教会

2011年度 今後の会議予定

月	日	曜日	時間	会議名	会議室
6	6	月	13:00~21:00	24-4常議員会	第1
	7	火	9:00~18:00	24-4常議員会	第1
7	4	月		第1回教区長会 (人事委員会)	
	5	火		第1回教区長会 (人事委員会)	
	6	水		第1回教区長会 (人事委員会)	
	12	火	16:00~20:30	事務処理委員会 (予定)	議長室
8	23			法人会連合総会	東京教会
	24			法人会連合総会	東京教会
9	13	火	16:00~20:00	事務処理委員会 (予定)	議長室
10	5	水	13:00~21:00	宣教会議	第1
	6	木	9:00~17:00	宣教会議	第1
	11	火	16:00~20:30	事務処理委員会 (予定)	議長室
	12	水	16:00~20:30	教師試験委員会	議長室
				初任牧師研修会 (2011年第2回)	箱根
				初任牧師研修会 (2011年第2回)	箱根
11	7	月	15:00~21:00	24-5常議員会	第1
	8	火	9:00~21:00	24-5常議員会	第1
	9	水	9:00~12:00	24-5常議員会?短縮の可能性あり	第1
12	6	火	16:00~20:30	事務処理委員会 (予定)	議長室
2012					
1	9	月	14:00~21:00	法人会連合研修会	第1
	10	火	9:00~12:00	法人会連合研修会	第1
	11	水	13:00~21:00	教師試験委員会	第II
	12	木	9:00~17:00	教師試験委員会	第II
	13	金	10:00~12:00	任用試験	議長室
	17	火	16:00~20:30	事務処理委員会 (予定)	議長室
2	15	水	9:00~21:00	会計監査	第1
	16	木	9:00~21:00	会計監査	第1
	20	月	15:00~21:00	24-6常議員会	第1
	21	火	9:00~21:00	24-6常議員会	第1
	22	水	9:00~12:00	24-6常議員会	第1
	26	日		神学校の夕べ	宣教百年会堂
3	4	日	19:00~21:00	教職授任按手式	宣教百年会堂
	5	月	9:00~21:00	神学教育委員会・宣教研修指導者会議	第1・II
	6	火	16:00~20:30	事務処理委員会 (予定)	議長室
	7	水	9:00~18:00	初任牧師研修会	議長室
	8	木	9:00~13:00	初任牧師研修会	議長室
	9	木	16:00~18:00	エキュメニズム委員会 (聖公会)	議長室
	9	木	15:00~17:00	エキュメニズム委員会 (カトリック)	第II
	20	火		教区総会	各教区

現地入りして一ヶ月がたちました

現地スタッフの遠藤です。今まで活動のご報告が出来ず、申し訳ありませんでした。

宮城県に入ってから5月13日です。一ヶ月となりました。ルーテルとなりびとのボランティアさんや牧師先生方と共に無我夢中で走りぬけた1ヶ月でした。

最初の約3週間は県の災害ボランティアセンター(以下、ボラセン)に派遣され、各地のボラセ

ンの運営のお手伝いをさせていたただいております。ボラセンは、全国・世界中から集うボランティアをコーディネートする重要な役割を担っています。

ボランティアコーディネーションについて実地で学びつつ、現場(仙台、東松島、巨理)に派遣され、特にボランティアスペースという団体ボランティアアグリプの方々

の受け入れと地域清掃のお手伝いをさせていただきました。

現在は、ボラセンでの活動を通してつながりが強まりつつある石巻に滞在し、物資が行き渡っていない地域を訪問して「生活のお困りごと」の御用聞きをしながら、長期的な支援活動に向けての調査・準備を行っております。

少しずつではありますが、避難生活をなさっている障がいをお持ちの方々も訪問させていただいております。

「救援活動」と銘打ってありますが、実際には食事をさせていただいたり、道案内をさせていただいたり、地元の方々と紹介させていただいたり、私のほうが石巻の皆さんから



前右側が遠藤優子さん、後右から4人目が、LWFから派遣されているアドバイザーのマイヒさんです。

遠藤優子
ラオカルーテルとなりびと